

令和2年度 コミュニティからの意見

城乾 コミュニティ

意見 1	<p>城乾コミュニティの対面歩道・城乾小学校東側歩道の植栽木が大いにほこり、大きな枝をつけています。夏場の時期、昼間は木陰ができていいのですが、夜になると街灯を隠して大変暗くなります。この道路は夕方から夜間にかけて帰宅の生徒や女性が多く通行します。</p> <p>そこで、毎年の事ですが、枝がのびきったこの時期（8月）に選定をお願いしたいと考えます。</p> <p>毎年お願いし、いち早く手立てをしてもらっていることに感謝しております。</p> <p>毎年この市長懇談会の時をお願いしておりますが、担当部署において年間の定例事業に位置付けてもらうことはできないでしょうか。</p> <p>宜しくお願いいたします。</p> <p>(回答)</p> <p>城乾小学校東側街路樹につきましては、年間維持管理として樹木の生育状況から毎年10月を目途に年1回の高木剪定を行うこととしております。ご指摘のありましたようにこの時期には大きく樹木が繁茂することから、毎年、ご依頼をいただき、軽剪定を行っております。ケヤキは本来10月から3月の時期に剪定を行うことが望ましく、この時期はまだ暑く、大きく剪定すると樹木が枯れる恐れがありますことから、当面は今までどおり状況を見ながら軽剪定を加えていく対応としたいと考えております。</p> <p>今後も適切な維持管理に努めてまいりたいと思っておりますのでご理解賜りますようお願い申し上げます。</p>
意見 2	<p>クラボウ丸亀工場が90年間の創業に幕を閉じ2020年3月に操業を停止しました。現在解体作業に入り2021年には更地となって売却する予定と発表されております。同工場は、敷地面積57,000㎡あり、市内中心部においてこれほどまとまった用地は今後二度とでてくることはないと考えます。</p> <p>丸亀市が進めてきた「まちづくり」推進において、この広大な土地は利用の仕方一つで将来に大きな影響を与えます。放置して乱開発となるか、市民のための開発とするかで城坤、城乾、城北、城西地区の今後に多大なる影響を及ぼします。なお、城坤、城乾地区は土器地区と並びハザードマップを見ても洪水の危険性が高い地域です。地域の人だけでなく丸亀市民の憩いの場や子供の遊び場にすることも可能です。さらに緊急時は避難場所としての機能を持たせるような公園・施設にすることもできると考えます。ぜひとも早急の対策を立てていただきたいと考えます。</p> <p>(回答)</p> <p>クラボウ丸亀工場につきましては、これまで経済活動や雇用などを通じ本市発展に貢献をいただきましたが、この度の閉鎖につきまして、本市といたしましても、非常に残念なことと捉えております。</p> <p>本年の3月に操業を停止するとの新聞報道を受け、市長自ら丸亀工場に出向き、あらためての経済や雇用など、本市にとって有意義な跡地利用となりますようお願いいたしますとともに、今後の情報提供等のお願いをしたところです。</p>

<p>現在は、クラブウ本社において、跡地のご検討をされているとお聞きしておりますが、現段階におきまして、本市に具体的な情報は入っておりません。</p> <p>当該工場跡地は民地でありますことから、所有者であります倉敷紡績(株)のご意向を確認しながら、本市としましても県企業立地推進課等とも連携し、ご協力できることは行ってまいりたいと考えております。</p>
--